

心に残る文化財子ども塾指導学習案

日 時 平成29年7月7日(金) 5.6時限目
場 所 さざなみ学園体育館
対象者 小学部8名、中学部9名
指導者 埋文センター職員1名
みらい分教室教員

1. 主題 協力して「奈良の大仏」実物大パネルを完成させよう。
2. ねらい
 - ・実物大パネルを協力して組み立て、大仏への関心を持つ。
 - ・大仏について学習し、その歴史や文化について理解する。

3. 授業の流れ

	児童生徒の学習活動	指導者の支援及び留意点
12:50		大仏パネル、展示資料の準備
13:20	① 説明 ・号令 ・流れの説明 ・講師紹介	・適宜声かけなどをしながら、注目して話が聞けるようにする。 ☆座席は集会時のように並ぶ。
13:30	② 大仏がつくられた当時の様子などについて説明を聞く ・出雲市内の遺跡の出土品に触れる。 ・大仏パネルの解説DVDを見る。	・ワークシートを準備して学習の流れを確認したり、メモをつくることできるようにする。 ・資料の扱い方について説明する。 ・DVDを使うなど視覚的な支援をする。
13:50	《休憩》	・水分補給場所を設け、適宜休息できるような環境を整える。
14:00	③ 大仏パネルを作成する。	・パネルの扱い方や大仏の作り方について注意する。 ・グループ単位で協力できるよう支援する。
14:40	④ 片付け	・大仏パネルを袋に戻す際に協力して収納する。
14:50	⑤ 生徒代表あいさつ	
14:55	各学級で振り返り	・振り返りシートを配布する。 ・アンケートを記入。

4. 準備物 パソコン、プロジェクター、長机、スクリーン

5. 服装 小学部：通常通り、中学部：体操服